たけやぶ

2024年3月22日

自主学童保育ささのはクラブ"

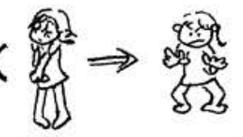
ドッジボール大会、もうすぐです！ みんなでがんばろう～

いよいよ来週26日(火)が大会。ささのはでは、毎日 沖四公園に出かけて練習しています。ルールもよくわかっていなかった1年生も「横外野」になった時に何をしたらいいか、など理解できるようになってきました。どんなことをやっているか…??

1・2年生 はじめに"投げっこ"の練習。ボールが大きくて、なかなか片手で投げられない人もいますが、「走る」「跳ぶ」など基本的な運動能力の中で「投げる」ことも とても大切なことなので練習しています。"外野までボールが届くこと"が とてもこどもたち同士でも大事なポイントのようで、「遠くまで投げられる」＝(イコール)「強い人」と思われています。体が小さくてもパワーが無くても、ちょっとした体(からだ)の使い方で ボールを遠くまで投げられるようになります。1対1で アドバイスしながら投げっこをすると、みるみる上達するのが1・2年生。3年生が1・2年生に"こうやって足を前に出しながら上から投げるといいよ"など 手取り足取り教えてくれたりするのが1番効果的です。二手に別れてゲームをやってみると、中心になるのは　くんや　くんですが、控え目だけどパワフルな　さんのボールは ささの武器です。　さんの適格なパスや積極的な　さんのスライスボールも頼もしい。ルーズボールをサッと拾ってくれる　さんや　さんなど、2年がかんばってくれるはず。誰も「コワくてイヤ！」と訴えないところがすごい!! 6試合もあるし、他学童もきっと強いけど一丸となってかんばって欲しいチームです。

3・4年生 ささのはの3・4年は4人のチーム。ふだんの練習では、1・2年生チーム vs 3年生だけ、とか 5・6年生チーム vs 3・4年チームなど、他学年の練習相手もつとめてくれる元気なチームです。このチームの中心は、なんといっても ちゃん！ 4年生の　くんのボールは パワーがあって 5・6年でも あてるのが難しいくらい強いのです。でもひとりじゃ勝てない！ 支えるのは3年の　くん。3年とは思えない伸びのあるボールや どんなボールでも受け止めるキャッチ力はピカイチ。そして3年には　くんや　くんもいて、頼もしい。　くんは遠慮がちだけど、4年になって背も高く、実はとても強いボールを投げられる人。3・4年は「外野から当てたら内野に戻れる」ルールなので、出入りも激しく、互いにエース同士の当てあい、になることが多いけど、試合時間は5分だけで延長なし、同点は引き分けになってしまうので、いかに相手の(外野からあてられない人)をたくさん当てられるか、が勝敗のポイントです。接戦が多くなりそう、特に午後の大事な試合まで、体力が持つか？も心配。チームメート全員でエースを支えることと、サポーターの応援も必要です。(コワシテー)

5・6年生 習いごとなどで なかなか人数がそろわない5・6年生チーム。少ない人数をさらに二手に分かれてゲームをやると、内野3人くらいしかいなくて、当然女子はねらわれる!! 当てられて「イヤ、ごめんなさい」という感じだった6年女子ですが、「自分がやるしかない!?」状況に置かれると、バシッバシッとボールは取るし、外野へのパスボールは味方の外野の頭をはるかに超えるほど大きなパスを投げられるし、強いじゃん!! 課題は、「弱そうに見えないように、勝ちを仕くしてガバッと構えること！」皆げらげら笑ってましたが、女子だけでドッジボールやると、みんな本性をあらわして(?) 容赦なく投げられるのです。本番もかんばって欲しい！



実際は　くんを中心に、5年男子が活躍しています。大石は　くんのボールですが、その強さをうまく引き出してくれるのが　くん。あちこちに投げ散らかされるボールをすばやく拾ってチャンスボールになるようなパスを送ってくれるのです。5・6年の試合は午前中の3試合のみ。13名いる土江のはは、9名のスキップと対戦するときには2名減らさないといけません。6年で話し合い、「全部出たいな…」とつぶやいた　くんの意向を　くんで　ちゃんが「出れば！」と言ってくれ、　くんは全部出ることになりました。その話し合い後での公園練習、　くんが覚醒!! 強い人のボールを(ボンッ)と音がひびくくらいに胸でキャッチ。(ブンッ)と投げたボールも相手に当たり、一番びっくりした顔をしていたのは　君本人でした。「オレ球(たま)、取れた…」となんだかかみしめているような様子に、こちらまで うれしくなりました。決して勝負にこだわるわけではありませんが、ちょっと緊張する、真剣なこどもたちの様子を見に、そして応援に、皆さん来てくださいねー！

(※3/26(火)大会後おつかれ様会するのでお迎えは17:30以降でお願いしまーす)